

## 黄綬褒章受章のお礼

謹啓 晩秋の候 皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。  
この度、図らずも黄綬褒章受章の榮譽に浴し、身に余る光栄に存じます。  
これもひとえ皆様方の温かいご指導とご支援の賜と深く感謝申し上げる次第でございます。

谷村建設は製材業をはじめ、製塩業・木造船の造船・建設業・娯楽観光業・農業と、それぞれの時代に地元で必要とされることを生業としてまいりました。

特に姫川港の建設にあたっては、河川の河口に造るのではなく陸地を掘り込んで造るという難工事に同業他社が躊躇する中、「地元で必要とされる港を造る」という強い信念のみで取り組みました。

姫川港は昨年開港 50 周年を迎え、あの時の父の決断、社長である父と行動を共にしてくれた社員に思いを厚くしております。

世は今人工知能（A. I.）全盛であります。

人手不足の中、I C T・ロボット・A I を上手に使うって諸課題を解決していくことは至極当然のことです。それらを利用し、そしてそれに当社がこれまで培ってきた技術の蓄積を加え手間ヒマを惜しまず、これからも地域が抱える問題に地域の皆様と共に取り組んでいくことが当社の使命と考えます。

これまで支えて頂きました関係諸官庁・諸団体の皆様、お客様やお取引先の皆様、当社グループ各社にお勤めいただいた社員・役員のみなさん、現役職員のみなさんに重ねて衷心よりお礼申し上げます。

謹白

令和 6 年 1 1 月 吉 日

マレーシア国クアラルンプール市に於いて  
谷 村 知 行